

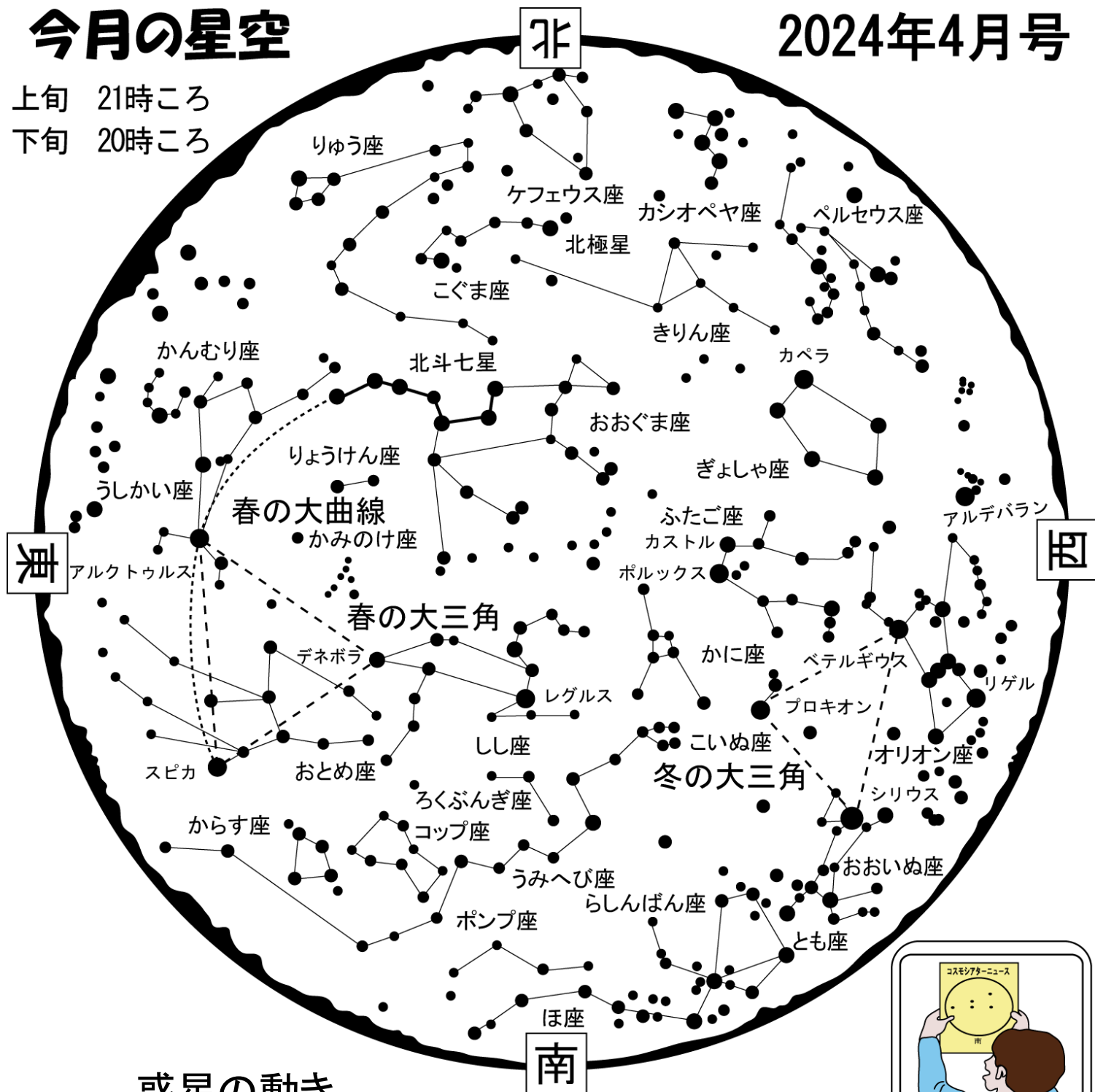
コスモシアターニュース

今月の星空

2024年4月号

上旬 21時ころ

下旬 20時ころ



惑星の動き

水星：見かけ上太陽に近く、肉眼で見つけるのは難しいでしょう。

金星：見かけ上太陽に近く、肉眼で見つけるのは難しいでしょう。

火星：明け方、東の低い空に見えます。明るさは1等星です。11日ころ土星と接近します。

木星：夕方、西の低い空に見えます。明るさは-2等星です。

土星：明け方、東の低い空に見えます。明るさは1等星です。11日ころ火星と接近します。



自分の向いている方向を下にして、見てください

今月の月の満ち欠け

下弦：2日(火)

新月：9日(火)

上弦：16日(火)

満月：24日(水)

10日(水)、西の空で、月と木星が並んで輝く

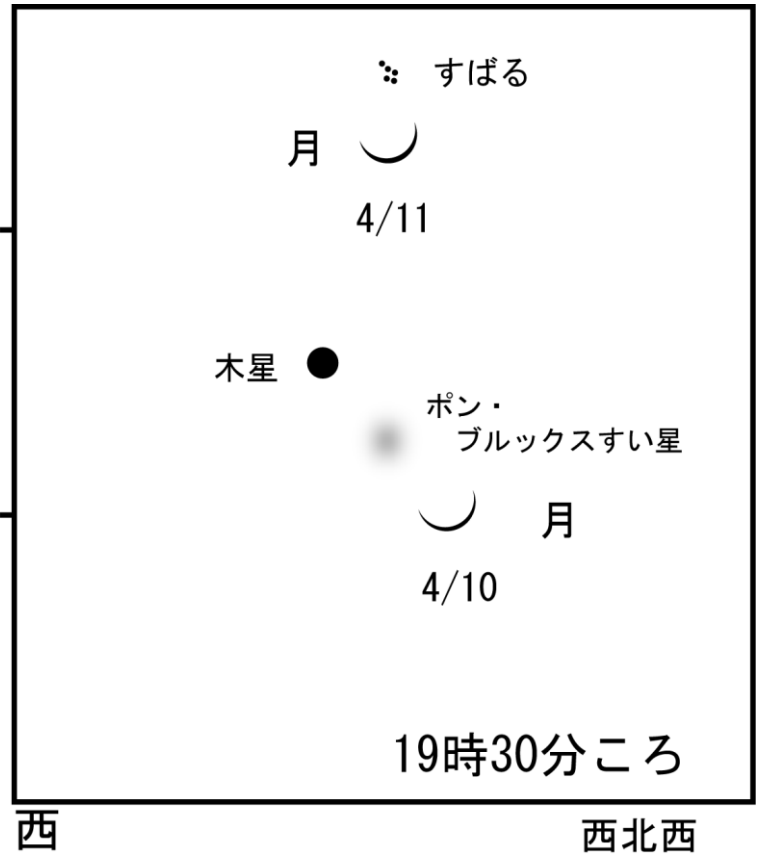
10日(水)の19時ころ、西の空に、細い月が見えてきます。そして、19時30分ころになると、空がしだいに暗くなり、星が見えてきます。

そんなころ、月の左上に、大変明るい星が見えてきます。この星が木星です。木星は2等星で、普通の1等星の20倍くらい明るいので、大変目につくでしょう。

そして、翌日の11日(木)には、月が木星の上に移動しますが、まだ、月と木星が並んだ状態になっています。また、11日は、月のすぐ上に、すばるといふ星の集まりがあります。できれば、小さな双眼鏡などを使ってご覧いただくと、月とすばるの接近がよく分かるでしょう。

ところで、木星のすぐ右下に、ポン・ブルックスすい星と呼ばれる、ほうき星があります。ただし、明るさが4等星から5等星で、肉眼では見えません。また、高さが低く、街の明かりの影響を受け、尾をみることも難しいでしょう。ただし、双眼鏡などを使うと、うっすらと雲のように見えるかもしれません。

今回の接近は、月と木星、すばる、すい星が並ぶ大変珍しい現象です。高さが低く街の明かり影響が多いので、できるだけ空の暗い郊外で、観察することをお勧めします。また、すぐに沈んでしまいますので、西の空の見晴らしがよいところで、20時ころまでにご覧ください。



今回の接近は、月と木星、すばる、すい星が並ぶ大変珍しい現象です。高さが低く街の明かり影響が多いので、できるだけ空の暗い郊外で、観察することをお勧めします。また、すぐに沈んでしまいますので、西の空の見晴らしがよいところで、20時ころまでにご覧ください。

22日(月)、こと座流星群が極大

こと座流星群は、22日(月)の夕方ころに極大(一番多くなる)となります。こと座は、真夜中前に昇り、明け方にかけて、だんだん高くなります。よって、22日(月)深夜から23日(火)の明け方に、たくさんの流星を見ることができます。

ただし、22日夜から23日の明け方は、ほぼ満月の月が輝き、条件は良くありません。このため、松山市内では、23日の明け方前に、見られる流星の数は、多くて1時間あたり数個くらいでしょう。そして、街明かりのない条件が良い所では、1時間に多くて5個程度の流星が、見られるかもしれません。なお、主に見られるのは、東の空です。

24日(水)、ピンクムーン

4月の満月を、ピンクムーンと呼びます。なぜこの名前が付いたか、正確な理由は分かりませんが、花が美しく咲くころから、ついたのかもしれませんが、4月の空はかすみがかかり、空がぼんやりと白くなることが多くなります。このため、月もぼんやりと見えることが多くなります。また、大気の影響で赤く見えることもあります。さて、どんな色に見えるのでしょうか? 月の色が変わって見えるのは、19時30分から20時ころです。月が空高く昇ると、白色になるので、20時ころまでがチャンスです。月の見える方向は、東の空です。高さが低いので、見晴らしがよい所でご覧ください。

北極星を見つけよう

北極星は、ほぼ真北に見え、ほとんど動くことがなく、北の方角を教えてくれる星です。しかし、明るさは2等星で、特別明るい星ではなく、時々わからなくなることがあります。

こんな時は、北斗七星の星の並びから、見つけることができます。北極星の場所は、右のように、北斗七星の端の二つの星を結んで、その間隔を5倍延ばした所となります。

北の空の星は、北極星をほぼ中心に、時計の針と反対方向に動いています。このように北極星は、北の方角を教えてくれるだけでなく、星の動きもお教えてくれますので、もし北斗七星が見つかったら、北極星を捜してみてください。なお、右の図の方法で、カシオペア座からも北極星を見つけることができます。ただ春の時期は、カシオペア座の高度が低く、見つけるのは難しいでしょう。

